

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2023年9月19日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

物価高騰が大変！冬の生活が心配！ 道へ要請・懇談

9月30日は電話相談会、10月13日はチカホ相談会行います



9月15日、北海道社保協、北商連、道民医連、札幌社保協、道生連は、北海道に対して、「物価高騰から道民生活を守るための要望書」を提出し、懇談しました。

同団体は、6月2日、北海道に対して「電力・ガス・食料品等の高騰から道民のくらしを守るための施策に関する要望書」を提出。北海道は不十分ですが一定の施策を行いました。今年度2回目の要望です。

物価高騰から道民生活と営業守って！

物価高騰のため国民生活が大変です。これまでの物価高騰に加えて9月以降値上げの食品の数は2000品目を

超えています。「毎日買い物に行くたびに値上がりしている」「何を食ったら良いのか」とため息の毎日となっています。特にガソリン価格の値上げがくらしの大変さに拍車をかけています。9月15日現在186.5円/Lと最高値を更新中。運送業、水産業、介護現場(施設への送迎)等に多大な影響を与えています。物価高騰の煽りを受けて労働者の実質賃金は下がり続け、この7月で16ヵ月連続のマイナスとなっています。

また、冬を控えて灯油が値上がりしています。札幌市の9月の値段(多量配達)は平均124.9円/Lです。札幌市で平均100円/L以上になるのは2021年10月以来24ヵ月連続です。このままでは円安が続き引き下がることは期待できません。

しかし、自公政権は、円安の改善、賃金の大幅値上げ、消費税減税等を求める国民の声を無視し続けています。北海道に、道民のくらしと営業を守るための下記の施策を求めました。

(要望事項)

- ①冬を安心して迎えるためにも、燃料代・電気代等の補助として、道民一人ひとりに給付金の支給。
- ②子育て世帯の援助(子ども医療費補助の拡充、学校給食費無償化、国保保険料の子どもの均等割減免拡充)。

- ③医療・介護機関、障害者施設、保育施設等に対する電気代・食料費の補助の実施。
- ④運送業者、水産業者等に対する燃料代の補助の実施。

相談活動を広げましょう！

いのちと暮らしを守るなんでも電話相談会

9月30日(土) 10時から18時まで

電話番号 0120-157930(フリーダイヤル)



前回7月29日の相談会では18件の相談があり、物価高騰による生活相談が相次ぎました。

今後の相談会のお知らせ

雇用とくらしのSOS 街頭相談会

10月13日(金)11時から16時まで

チカホ 北3条交差点広場(西)

労働問題・生活問題のミニ講演も行います

好評発売中

『道民のくらしに役立つ

ハンドブック 2023-2024年版』

1冊200円(84ページ)

